

## 平成30年度 事業報告

### 1. 概要

急速に進む少子高齢化に伴い、労働力人口の著しい減少から、シルバー世代は就業を通じて、生きがい、仲間作りや健康維持・増進を図るとともに、社会参加や担い手となることで、地域のあらゆる分野での貢献が求められています。

今年度は総勢504名（男性327・女性177）の会員の皆さまから登録させていただきました。入会説明会の案内や市のイベント時チラシ配布した結果、45名（男性34・女性11）の新再入会がありましたが、近年顕著となってきている病気、加齢、介護等の理由による退会者が73名（男性49・女性24）に及んだため、前年度に対して28名の減少となりました。

しかし、一昨年からスタートした介護予防・日常生活支援総合事業の訪問型サービスBの利用者が53名となり、昨年度から6名増え今後も増加が期待されることから、担い手育成のため「介護基礎と家事援助サービス講習会」を開催強化し、会員の増加に努めていきたいと考えています。

事業実績は、請負・委任では剪定、除草、屋内清掃、屋外施設管理の実績が前年度を下回り、受託件数（44件）と就業延人員（671人）と、契約金額は670万円下回る結果となりました。

派遣は、受託件数と就業延人員がそれぞれ増加に転じ、契約金額は前年度比124万円増加しました。

その結果、契約金額合計は前年度比546万円程の減少となったことから、今後は就業開拓等による受注活動の実施により、契約金額の増加に努めたいと思います。

請負・委任事業及び派遣事業の取組を進める中で、研修会を開催し適正就業に対する意識の徹底を図り、後継者育成のため各種講習会などを開催し会員の資質向上に取り組みました。また、市広報誌及び地元新聞並びにFM放送の利用により、シルバー事業のPRを実施しました。

生涯現役社会実現の担い手としてシルバー人材センターに大きな期待が寄せられていることから、会員一人ひとりがシルバー人材センターの意義役割を自覚し、各々の経験と知識を活かしながら「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、会員と役職員が一丸となって各種活動に取り組みました。

### 事業実績の総括

	平成29年度	平成30年度	前年度比
年度末会員数	532人	504人	94.7%
①請負・委任			
受託件数	6,769件	6,725件	99.3%
就業延人員	60,986人	60,315人	98.9%
配分金額	174,361,652円	167,245,053円	95.9%
契約金額	198,654,551円	191,951,235円	96.6%
②派遣			
受託件数	11件	14件	127.3%
就業延人員	1,729人	2,100人	121.5%
賃金額	4,845,585円	5,805,216円	119.8%
契約金額	6,279,852円	7,523,514円	119.8%
契約金額合計	204,934,403円	199,474,749円	97.3%